

令和3年9月1日

松波中学校・保護者の皆様へ

能登町立松波中学校
校長 中社 進
(公印省略)

感染症対策 2学期の重点取組・ご協力のお願い

初秋の候 皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に対しご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、依然毎日のように新型コロナウイルスに関する報道が流れており、国内の感染状況は日々変化する状況に変わりはありません。つきましては、感染症防止のため、本校では2学期以降の重点取組をすすめていきます。ご家庭でも引き続き、取組へのご協力をお願い致します。

記

以下、2点での重点取組をすすめます。※下線部…変更点・重点です。

I 毎朝、ご家庭でお願いしたいこと(2点)

①健康状態を確認して下さい。(検温記録表はなくなりました。)

→検温・健康チェック(体調はよいかチェックして下さい。)

☛学校玄関で、名簿に体温・健康状態を記入することにした。

発熱時・体調が悪い時・家族で体調の悪い人がいる時は無理せず休ませて下さい。

②3点セットを持たせて下さい。

→(1)マスク (2)清潔なハンカチ (3)マスク入れ(袋)

☛マスクをつけて校内に・玄関で手指消毒・マスク入れ(袋)は教室机横に

II 学校での取組

以下7点の取組をすすめます。※裏の『生徒用』資料もご参照下さい。

①石けんで手洗い・手指消毒(6つのタイミング)

②マスクの常時着用(ただし、運動中ははずす)

③常時換気

④給食時…同じ方向を向いて・黙食

⑤部活動時…健康状態の記録・手洗い・手指消毒・ディスタンスの保持

⑥発熱や体調不良者への対応

→2F小多目的室を待機スペースとしました。

⑦校内の消毒

→職員が、昼・放課後にドアノブ・スイッチ・手すり等の消毒を行います。

・別紙資料：《新型コロナウイルスに関するQ&A マスクの効果について》も配付します。

→生徒の顔にぴったりとフィットしているマスクを選んであげて下さい。

・その他わからないこと等がありましたら、松波中学校(tel 72-0004)までご連絡ください。

感染症対策 ☆2学期の重点取組☆

朝、登校前

★おうちの人と健康状態の確認をする。

①検温



②健康チェック



熱がある時や体調が悪い時、また、
家族で体調不良の人がいる場合は
無理をしないで家で休みましょう。

マスク・清潔なハンカチ・マスク入れ(袋)

3点セットを忘れずに!

教室の机横にかけておく

登校時

マスクをつけて校内に



玄関で手指のアルコール消毒



玄関で体温の記録



学校で

石けんで手洗い・
アルコール消毒



マスクは常に着用
(運動中・給食中以外)



常時換気



6つのタイミング

- 学校・教室に入る前
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
- 食事の前後
- 掃除の後
- トイレの後
- 共有のものを触る前後

給食時は
黙食



体調不良者は
待機スペースへ
(小多目的室)



〈職員〉校内の消毒

▷ドアノブ、スイッチ、

手すり等



部活動で

健康状態の確認をする

(休日は、部活動ごとに検温を記録する)

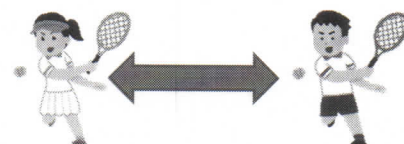


手洗い・手指の
アルコール消毒



ディスタンスを保つ

(マスクをしていないため、友達との距離に気をつける)



厚生労働省ホームページ

新型コロナウイルスに関する Q&A（一般の方向け）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html#Q4-1

4. マスク・消毒液に関するもの

問1 マスクはどのような効果があるのでしょうか。

マスクの素材や、人と人の距離感等によって、マスクの効果には違いが生まれます。（※）ここでは御自身の目線で説明するため、便宜上、「飛沫を出す側：自分」「飛沫を吸い込む側：相手」と記載します。

まず、マスクの素材ですが、一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ちます。次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があります。もちろん、人の顔の形は千差万別ですので、同じ素材のマスクの間でも、自分の顔にぴったりとフィットしているマスクを選ぶことが重要です。また、マスクのフィルターの性能や布の厚さなどによっても差が出ます。

次に、マスクは、相手のウイルス吸入量を減少させる効果より、自分からのウイルス拡散を防ぐ効果がより高くなります。仮に50センチの近距離に近づかざるを得なかった場合でも、相手だけがマスクを着用（布マスクで17%減、不織布マスクで47%減）するより、自分だけがマスクを着用（布マスク又は不織布マスクで7割以上減）する方が、より効果が高く、自分と相手の双方がマスクを着用することで、ウイルスの吸い込みを7割以上（双方が布マスクで7割減、不織布マスクで75%減）抑える研究結果があります。

特に、室内で会話を行う場合は、マスクを正しく着用する必要があります。また、屋外ならばマスクは不要ということではありません。感染防止に必要な「最低1メートル」の間隔を確保できない場合もありますので、やはりマスクは重要です。自分から相手への感染拡大を防ぐために、話す時はいつでもマスクを着用しましょう。

（参考）マスクの効果について

https://corona.go.jp/proposal/pdf/mask_kouka_20201215.pdf

（参考）マスクの効果に関する動画

<https://corona.go.jp/proposal/>

（参考）正しいマスクの付け方

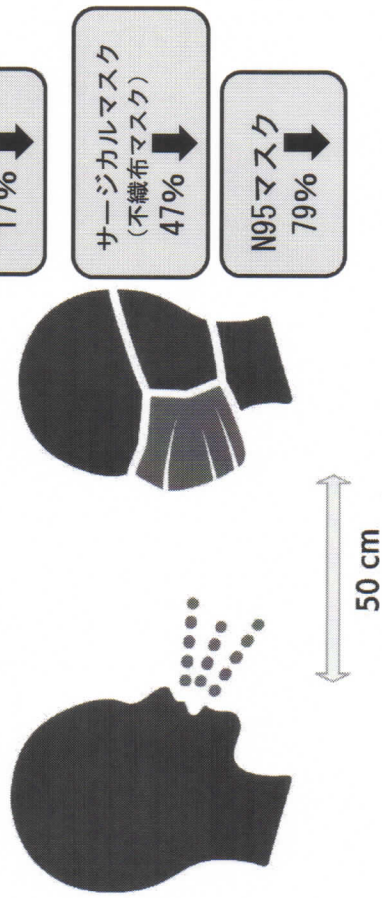
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593493.pdf>

<https://www.youtube.com/watch?v=VdyKX4eYba4>

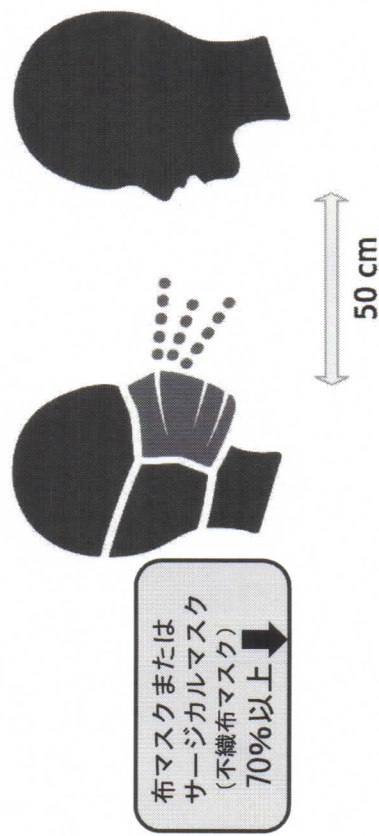
○マスクの効果

東京大学医科学研究所のデータを基に内閣官房作成

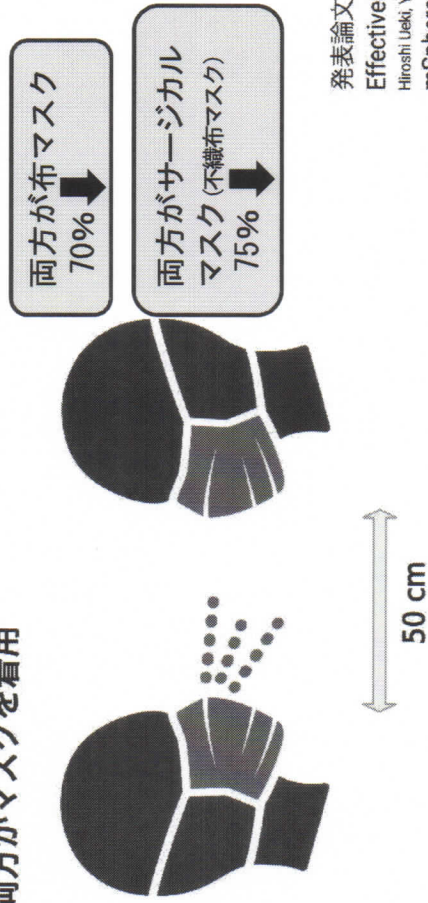
① 聞き手だけがマスク着用



② 話し手だけがマスク着用



③ 両方がマスクを着用



みんながマスクを
することが大切

発表論文

Effectiveness of Face Masks in Preventing Airborne Transmission of SARS-CoV-2

Hiroshi Ueki, Yuri Furusawa, Kiyoko Iwatsuki-Horimoto, Masaki Imai, Hiroki Kabata, Hidekazu Nishimura, Yoshihiro Kawachi

mSphere 2020. DOI: 10.1128/mSphere.00637-20